

学鳳ふうき

Vol.2
2019.06.19

発行：生徒指導部

交通教室～スケアード・ストレイト教育技法～

5月16日(木)6・7校時に、「交通ルールの大切さ」を学ぶ・実感してもらうことを目的として全校生を対象に交通安全教室が行われました。プロのスタントマンに実際の交通事故の様子を実演していただいたことで、事故を未然に防ぐための注意点を改めて学ぶことができました。

「百聞は一見にしかず」。この言葉の通り、生徒は事故の恐ろしさと交通ルールの大切さを深く認識したと思います。目の前で実際の事故現場を見た生徒たちはとても衝撃を受けていました。トラックが交差点を曲がる際に自転車が巻き込まれる事故や、死角から飛び出してきた自転車と自動車とが衝突する事故など、スタントマンの方々が実演した交通事故は、特別なことではなく日常生活の中で起こりうる事例であり、生徒たちは驚きながらも真剣に事故の様子を見つめていました。

<内輪差に巻き込まれる事故>



<死角から飛び出した自転車と車の衝突事故>



<トラックの死角から前進する自転車と交差点を渡る自動車の衝突事故>



実演していただいた交通事故

- ・ヘッドホンをつけながらの自転車運転による事故
- ・自転車同士の正面衝突
- ・死角から飛び出した歩行者と自転車の事故
- ・内輪差による巻き込まれ事故
- ・二人乗り、ながらスマホ、傘さし運転による事故



生徒の感想・メッセージ等

- 交通事故の衝撃の大きさにとても驚いた。
- 気をつけて運転しなければ巻き込まれてしまう、ということがよくわかった。
- 交通事故を自分事と考えるきっかけとなった。
- 事故を起こす側も巻き込まれる側も、互いに些細なことを注意するだけで深刻な事故は防げることを知った。
- イヤホン走行や二人乗りなどの違反が重大な事故につながることを確認することができた。

最後に

今日、痛ましい交通事故のニュースが続々と報道されています。その報道を見ると、「自動車側が気をつけるだけでは交通事故はとうてい防ぐことはできない」としばしば思うことがあります。えd f 歩行者・自転車運転側にも危険予測や注意の意識がますます求められるようになっていきます。歩行者・自転車運転側という立場にある生徒の皆さんは「車が譲ってくれるのが当たり前」、「自分は歩道を歩いているから大丈夫」という認識でなく、「いつどこで事故が起こるか分からない」という認識を頭の片隅に置きながら、日常生活を送って欲しいと思います。今回の交通教室を通して、生徒・教職員の皆さんの安全意識や交通モラルに対する意識がより高まり、本校生・教職員が関わる事故が起こらないことを心から祈るばかりです。

<自転車事故の衝撃は想像以上です。>



<ベビーカーと自転車の衝突。赤ちゃんが…>



心の教育講話～Global Standard を目指して～

5月29日(水)6・7校時に、元バレーボール全日本女子戦術・戦略コーチ、現デンソーエアリービーズ女子バレーボール監督の川北元(かわきた げん)氏による講演が行われました。この講演会は、講師の先生にこれまで培われてきた経験等をお話しいただき、生徒たちにこれからの人生の糧としてもらうことを目的として実施したものです。

日本代表のコーチを務めた方の講演に、バレーボール部員をはじめとする生徒の皆さんは目を輝かせながら耳を傾けていました。川北先生が単身アメリカに渡った際のエピソードや、全日本のコーチ時の経験談など興味が尽きない話が続きまして。そして終盤には、生徒が主役となって全校生徒の前で自分の特技を披露するという機会があり、3人の生徒がそれぞれ持っている個性を表現してくれました。「歌に自信がある!」「居合いの動きなら!」「体操なら!」と勇気を出して自ら名乗り出ました。全校生・教職員が見つめる中、見事に表現できた3人の生徒を心から誇りに思います。生徒たちにとっては忘れられない講演となったことでしょう。

＜「経験」することの大切さを伝える川北先生＞



＜熱く語る川北先生とそれを聞く生徒たち＞



←歌声なら自信がある!と小林桃花さん(1-4)が全校生の前で立派に歌を披露しました。張りのある大きな声が体育館に響き渡り、その堂々とした姿勢に川北先生も驚いていました。その他にも同じく1年生で華麗な居合いの型を披露した生徒や、3年生で新体操の技の一つ、ひねりを入れた空中1回転を披露した生徒がいました。写真を撮り忘れてしまうほどの素晴らしいパフォーマンスでした!

全校生徒が注目する中でパフォーマンスをすることはとても勇気のいることですが、川北先生の講話をよく聞き、すぐに実践することができた3人の生徒は本当に立派だと思います。3人の今後の活躍にぜひ注目したいです。

生徒の感想

○バレーボールをやっていてよかったと思った。自分がやっているスポーツの最高峰の方と出会えて感動した。

○単身でアメリカに渡る勇気がすごいと思った。大変なのだろうけど、思いを行動を起こすことが人生の転機になるのだなぁと思った。

○何かを成し遂げるには、思っていることを行動に移すことが必要なのだと強く感じた。

○緊張はしなかった。自分の好きなことをやるということは本当にいいなぁと改めて感じた。

○川北先生の講話も良かったけれど、同じ学校の生徒が勇気を出してステージで発表する姿にも感動した。



今回の講話では、行動する勇気やトップアスリートの意識など、日常生活では体験できない、未知の世界を見ることができました。生徒の生き方、在り方に少しでも変化が起こることを期待します。お忙しい中足を運んでくださった川北先生に感謝いたします。

※上記の内容は、学校 HP にも掲載されています。

福島県立会津学鳳高等学校

〒965-0003 福島県会津若松市一箕町大字八幡字八幡 1 番地の1

0242-22-3491

aizugakuho-h@fcs.ed.jp